

## 1 単元の概要

単元名 「柔道の投げ技How to動画をつくろう」

授業の概要：本単元では手技・腰技・足技を取り上げ、「初めて柔道を学ぶ中学生に向けた投げ技How to動画をつくる」ことを課題とする。授業では柔道の経験がほとんど無い生徒自身が感じる難しさや投げる際の感覚などを動画に盛り込んでいけるように展開していく。既習事項を基に投げ技の崩し・つくり・かけについて内的視点（スポーツオノマトペや感じ）と俯瞰的視点（体さばきや手足の動かし方）から考察しながら記録を積み上げ、動画の形で表現し評価しあう学習を目指したい。

	目標	評価規準	評価資料
知識 技能	投げ技の原理・原則を理解し、安全に相手を投げることができる。	手技・腰技・足技の特徴を理解し、それぞれの技にあった崩し・つくり・かけで技をかけている。 投げ技に関する知識を適切に動画に反映している。	動画メモ 発表動画 実技
思考 判断 表現	投げ技を主観的視点(内的視点)・客観的視点(俯瞰的視点)から考察し、投げ方のコツをわかりやすくまとめ、伝えることができる。	投げ技のコツをオノマトペや身体を動かす感じなど主観的視点から振り返り、ワークシートや動画で表現している。自身や他者の投げ方を体さばき・手足の動かし方など客観的視点から振り返り、互いに伝え合ったり、ワークシートに書き出したりしている。	ワークシート 学習カード 動画メモ
主体的に学 習に取り組 む態度	自分の身体と向き合い、他者に投げ技のコツを伝えるために、試行錯誤しながら練習に取り組もうとしている。	教師、級友などからフィードバックを受けたり、模範動画を見たりしながら、仲間と協働的に練習に取り組んでいる。よりよい作品になるように、試行錯誤しながら積極的に取り組んでいる。	観察  学習カード ロイロノート

## 2 単元の展開

### 単元の流れ (全11時間)

1	柔道らしい動きを味わう(基本動作の復習)
2	受け身の復習
3	既習技で相手を投げよう(体落とし・大腰)
4	既習技を二つの視点から分析しよう！ ～内的視点・俯瞰的視点～ スポーツオノマトペ ・吹き出しカード オノマトペ・感じ=色分け
5	既習技を二つの視点から分析しよう！ ～内的視点・俯瞰的視点～
6	新技に挑戦しよう①
7	新技に挑戦しよう②
8	新技を二つの視点から分析しよう！
9	How to動画をつくろう①
10	How to動画をつくろう②
11	作品を鑑賞し、技を試し合おう

### 本時 (4/11時) の流れ

#### 本時の目標

既習技を内的視点と俯瞰的視点から考察し、他者に伝える投げ技のコツを見出す。

- 1 本時の流れを確認する。(5分)
- 2 柔道ウォームアップ
- 3 投げ技の基本確認 スポーツオノマトペの紹介
- 4 投げ技の内的視点からの分析  
⇒オノマトペ、投げる感じに着目し、自分が技をかけているときの感覚を身体で確認しながらワークシートに書き出す。
- 5 投げ技の俯瞰的視点からの分析  
⇒投げ技をロイロノートの動画で撮影し、体さばきの位置や手足の使い方を客観的視点から分析する。分析内容はロイロノートに記述する。
- 6 グループ内のペアで共有  
⇒本時の成果を見せ合い、感想をもらう

# 本単元で引き出される、創造的思考の習慣

創造的思考のプロセス（試行錯誤と創意工夫）		創造的思考の習慣（赤字はキーワード）
思いや問題に気づく	<ul style="list-style-type: none"><li>● 仲間と試行錯誤しながら投げ技に取り組み、自分の特性に合った投げ方を見出す。</li><li>● 投げ技を主観的視点から分析し、投げるときの感じや感覚に気づく。</li><li>● 投げ技を客観的視点から分析し、自分の実態と模範となる動きや他者との違いに気づく。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>身体活動を通したコミュニケーション</b>による気づき</li><li>● 「<b>動いて試す</b>⇒<b>協働的に確認</b>する」の往還</li><li>● <b>主観的視点</b>（内的視点）からの気づき</li><li>● <b>客観的視点</b>（俯瞰的視点）からの気づき</li></ul>
アイデアを思い描く【拡散的思考】	<ul style="list-style-type: none"><li>● 自分の身体感覚を様々な形で視覚化してみる。</li><li>● 自分の考えるコツを伝え合いながら、より伝わる（共感してもらえ）形を模索する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>運動感覚の可視化・言語化</b></li><li>● 解決方法の伝え合い</li><li>● 他者の運動から学び、試して見る</li></ul>
アイデアを実行する【収束的思考】	<ul style="list-style-type: none"><li>● 見出したコツや感覚、オノマトペからより良く伝わるもの、適切に自分の技のコツを表すものを選択し、動画として表現する。</li><li>● 選択・吟味したアイデアを具体的に構想、試作・試行する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● これまでの練習をもとに、<b>原理原則を踏まえ、自己に合った方法</b>を選択し、実践する。</li><li>● 仲間のアイディアを受け入れながら、<b>対象を考えて</b>より良く伝わる方法を吟味する。</li></ul>
アイデアを振り返る【メタ認知】	<ul style="list-style-type: none"><li>● 自分の投げ技のコツが相手に伝わる形で整理されているか確かめる。</li><li>● 他（人の）アイデアの長所と短所を特定し、良さを認め合ったり助言し合ったりする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 自分の<b>身体感覚</b>を相手に伝わる形で<b>表現</b>できたか振り返る。</li><li>● 互いの学びを共有しながら<b>認めあう</b>。</li><li>● <b>コツの表現の仕方、感じ方の違い</b>に気づく。</li></ul>